BEGINNER CANDLE LESSON

はじめての グラデーション キャンドル

パラフィンワックスでつくる、
やさしい色合いのキャンドル



3色をゆっくり重ねて、じぶんだけの色を。

CANDLE MAKING GUIDE ・ 01

キャンドルのある暮らし

WELCOME

こんなキャンドルがつくれます

やさしいピンクの濃淡を、3つの層で表現します。



難易度	サイズの目安	作業＋層の待ち時間
初心者向け	直径5cm × 高さ7cm	約2〜3時間

どんな仕上がり？

できあがりは、色の境界がやさしく重なる「3段階のグラデーション」。完全になめらかな無段階の色変化とは異なります。

＋ 冷却時間　最後に室温で一晩ほど、しっかり冷やします。

※ 表示サイズ・所要時間は作例の目安です。

TOOLS & MATERIALS

そろえるもの

まずは、必要な材料と道具を確認しましょう。

材料 / 1本分

- **パラフィンワックス**
  約150gを準備（本体約120g＋予備）
- **キャンドル用の染料または顔料**
  1色。専用品を規定量の範囲で少量ずつ
- **キャンドル用の糸芯**
  直径・ワックスに合う太さを1本



道具

- **IHヒーター・片手鍋**
  IH対応・注ぎ口つきの鍋
- **デジタルスケール**
  ワックスを計量する
- **座金（1個）**
  糸芯の根元を固定する金具
- **糸芯固定具**
  糸芯の上側を中央で支える
- **クッキング温度計**
  温度を測り、軽く混ぜる
- **モールド または 紙コップ**
  紙コップは耐熱性などを確認
- **座金固定シール（1枚）**
  底の中央に座金を貼り付ける
- **ペンチ・はさみ・耐熱手袋**
  座金を締める・芯を切る・保護

座金と固定シールの使い方は巻末の図解へ

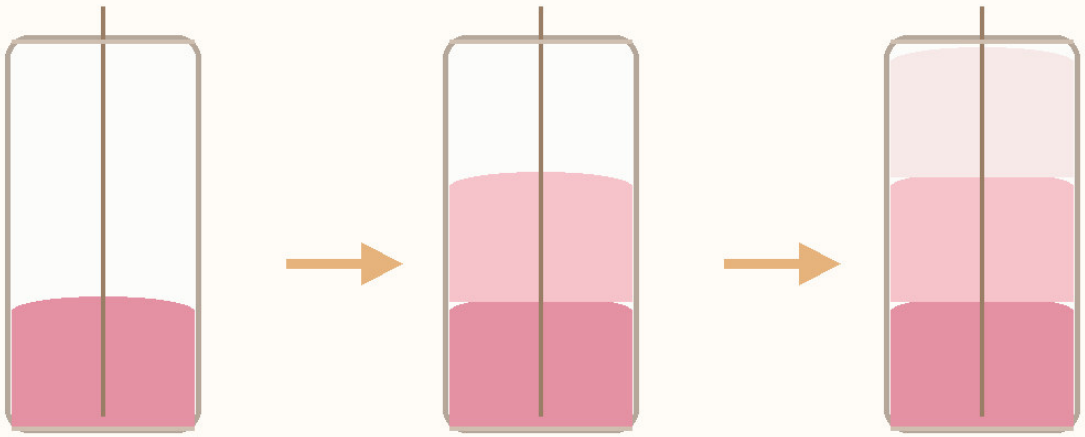
座金　各サイズ　|　商品ページを見る　›

座金固定シール　|　商品ページを見る　›

COLOR & LAYERS

グラデーションのしくみ

同じ色を「濃い → 中くらい → ごく薄い」に変えていきます。



1色目
濃いピンク

2色目
うすいピンク

3色目
ほぼ白

きれいに重ねるコツ

一度に混ぜず、1色目を注いだら表面が落ち着くのを待って次へ。色は同じ系統にすると、やさしい印象に仕上がります。

色づけのポイント

顔料・染料は「キャンドル専用・燃焼用に適合」のものを。

濃度の目安は製品ごとに違うので、少しずつ加えます。

クレヨン・水性絵の具は使いません。

STEP BY STEP

つくり方 / 1〜4

準備をして、ワックスを安全に溶かしましょう。

1 作業場所を整える



机を保護して道具を並べ、換気します。
水気や燃えやすい物は遠ざけましょう。

POINT 作業中は加熱器具から離れない。

2 座金をつけ、芯をセット



糸芯を座金に通してペンチで締めます。固定シールで型や紙コップの底の中央に貼り、上側も支えます。

POINT 紙コップは底の密閉性・耐熱性を確認。

3 ワックスを量る



約150gを用意。3色の層に使う分は各約40gを目安にし、残りは補修用に取っておきます。

POINT 型が大きい場合は分量を調整。

4 鍋をIHで温めて溶かす



IH対応の注ぎ口付き鍋にワックスを入れ、低出力で加熱。クッキング温度計で混ぜつつ実測します。

POINT 加熱中は離れず、製品指定の温度を守る。

STEP BY STEP

つくり方 / 5〜8

いよいよ色を重ねていきます。焦らずゆっくり。

5 1色目をつくる



溶けたワックス約40gに専用着色剤を少量加え、よく混ぜます。最初は濃いピンクにします。

POINT 着色剤は必ず製品の使用上限以内で。

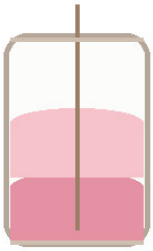
6 1色目をそっと注ぐ



使用ワックスの推奨温度で、型または紙コップの約1/3まで注ぎます。芯がずれないように。

POINT 急に注ぐと気泡が入りやすくなります。

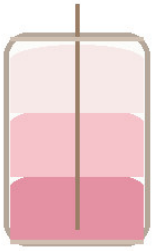
7 2色目を重ねる



1色目の表面が固まり、液状でなくなったら、少し薄い色を静かに注ぎます。

POINT 下の層は固まりつつ、まだ少し温かい状態が目安。

8 3色目を重ねる



2色目も同じように落ち着いたら、さらに薄い色をそっと注ぎます。

POINT 表面が液体のうちに注ぐと色が混ざります。

FINISHING

つくり方 / 9〜10

最後はしっかり冷やして、やさしく取り出します。

9 しっかり冷やす



3色を注ぎ終えたら、室温で動かさず完全に冷まします。一晩を目安に、内部まで固まるのを待ちます。

POINT 熱いまま型を動かしたり、無理に外したりしない。

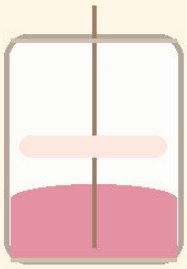
10 型から出して整える



十分冷えたら慎重に型から外します。紙コップなら紙を剥がして取り出し、芯を約5〜6mmに切ります。

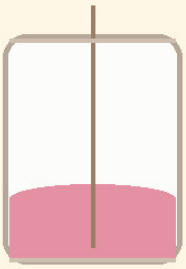
POINT 芯を強く引っぱらないでください。

こんな状態になったら、次の色を注ぎましょう



まだ液体

もう少し待つ



表面が落ち着いた

次の色をゆっくり注ぐ

※ 表面状態・待ち時間は温度、型、ワックスの種類で変わります。

TROUBLESHOOTING

うまくいかないときは？

はじめてなら、少しくらいの失敗は大丈夫。原因を確かめましょう。

色が混ざった



下の層がまだ液体だったかも。
表面が固まるまで待ってみて。

少しずつ調整してみましょう

境目がくっきり



下の層が冷えすぎていたかも。
温度差や注ぎ方を調整。

少しずつ調整してみましょう

中央がへこんだ



冷えて縮んだ可能性があります。
残しておいたワックスで補修。

少しずつ調整してみましょう

気泡ができた



勢いよく注いだのかも。
ゆっくり注ぎ、容器を揺らさない。

少しずつ調整してみましょう

芯がずれた



座金や上部の固定が弱かったかも。
座金固定シールで底の中央に固定。

少しずつ調整してみましょう

型から外れない



完全に冷えていないのかも。
無理に引っ張らず、十分に冷却。

少しずつ調整してみましょう

SAFETY FIRST

安全に楽しむために

熱いワックスも、完成後の炎も、正しく扱いましょう。

1 加熱中は離れない

IH対応の鍋を低出力で使用。温度計で確認し、加熱中はその場を離れない。過熱・煙が出たら電源を止める。

2 水気を入れない

溶けたワックスに水が入らないよう注意。加熱容器と道具はよく乾かして使います。

3 やけどに注意

耐熱手袋を使い、熱い容器には素手で触れない。お子さまだけで作業しない。ペットも作業場所から離します。

4 換気・片づけ

換気しながら作業し、燃えやすい物を遠ざけます。流しに液体ワックスを捨てない。

5 灯すときのルール

紙コップは必ず剥がし、耐熱皿の上で灯す。芯は約5〜6mm。火をつけたまま離れない。

忘れずに

ワックスに引火したときは水をかけず、安全を確保して119番に通報してください。

HAVE FUN

色の組み合わせを変えて、

あなただけのキャンドルづくりを楽しんでください。



きょうの3色が、

お気に入りの1本になりますように。

キャンドルのある暮らし

https://www.life-candle.shop/

制作ノート

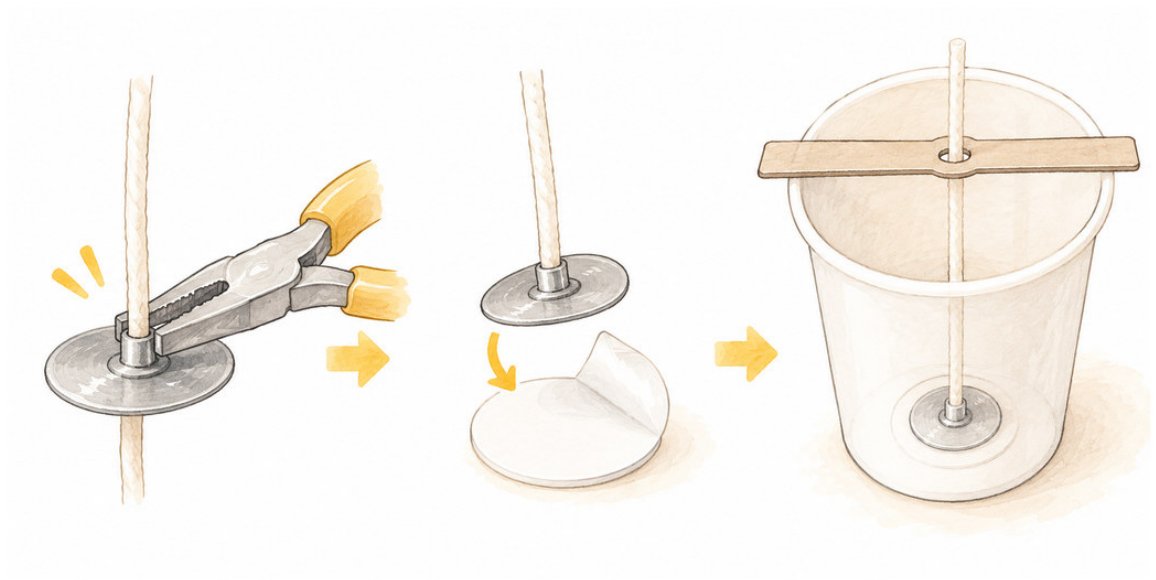
IH対応の鍋を使用。温度・着色剤・芯は購入商品の仕様を優先してください。

安全・製法の参考：CandleScience / National Candle Association

EXTRA LESSON

座金と固定シールのつけ方

型でも紙コップでも、糸芯を底の中央に固定することが大切です。



① 座金をつける

糸芯を座金の穴に通して、ペンチで筒の部分を締めます。

② シールで貼る

座金の裏面に固定シールを貼り、乾いた型の底の中央に圧着。

③ 上部を支える

芯をまっすぐ立て、上部は糸芯固定具で中央に固定します。

紙コップを使うとき

加熱ワックスに耐え、漏れない紙コップを使用。しっかり冷えたら紙を切り開いて剥がします。紙コップを付けたまま点灯しないでください。